



しずおか
自治会・町内会
多文化共生
ガイドブック

～令和3年度 静岡市協働パイロット事業～
里山くらしLABO・静岡市

この冊子について

はじめに

外国人であっても、日本人であっても、日々のくらしは同じで、ともに暮らす仲間であり、地域において自治会・町内会のみなさまが対応するケースも多々あります。外国人のためのくらしのガイドは多々ありますが、外国人とともに生活をする自治会・町内会をはじめとする地域のみなさまが参考にできるようなガイドブックはあまりありません。今後、さらに外国人が増えることが予想されます。外国人との共生について制度が拡充されることも想定されますが、今できる工夫などをまとめ、外国人とより共生しやすい地域づくりのガイドになればとこの冊子を作りました。みなさまの地域づくりにお役立ていただければうれしい限りです。

この冊子の内容

この冊子では、令和3年度に実施した、外国人と共生する自治会長へのアンケート結果も参考に、外国人と共によりくらしやすい地域を作るにはどうしたらいいのかを、外国人の現状とともに、他地区の事例やヒントをあわせてご紹介します。

目次

- 01 この冊子について
- 02 静岡市の外国人の現状
- 03 外国人と自治会・町内会の現状
- 05 外国人との共生①自治会・町内会活動
- 08 対談「日本との違い座談会」
- 09 外国人との共生②コミュニケーション
- 11 外国人との共生③ごみ出し
- 15 外国人との共生④地域防災
- 18 こまったときの相談窓口
- 19 地域の好事例①有東高層団地自治会
- 21 地域の好事例②南御厨地域づくり協議会
- 自治会・町内会のためのやさしい日本語
- 23 やさしい日本語とは？
- 24 やさしい日本語8つのポイント
- 26 やさしい日本語お知らせ例文集
- 29 やさしい日本語言い換え集
- 30 やさしい日本語の情報

現状は？

まずは現状について正しく知りましょう！

他の会長はどう思ってる？

市内で外国人と共生する自治会長・町内会長にアンケート！

どうしたらいいの？

明らかになった課題についてお役立ち情報をご紹介します！

先進的な取組をご紹介します！

県内で先進的に取り組んでいる地域をご紹介します！

「やさしい日本語」のすすめ！

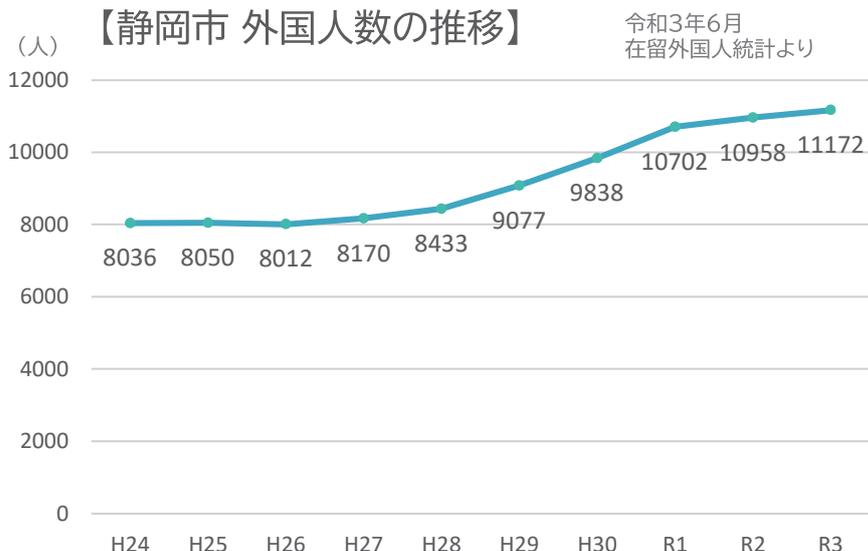
外国人とのコミュニケーションに役立つ「やさしい日本語」のコツをご紹介します。さまざまな場面でお役立て下さい。

「やさしい日本語」の言い換え集や各種おたよりの文例、今後役に立つサイト集などご用意しました。活動にお役立て下さい。

静岡市の外国人の現状

静岡市では外国人は増加し、これからも増えていく予測です

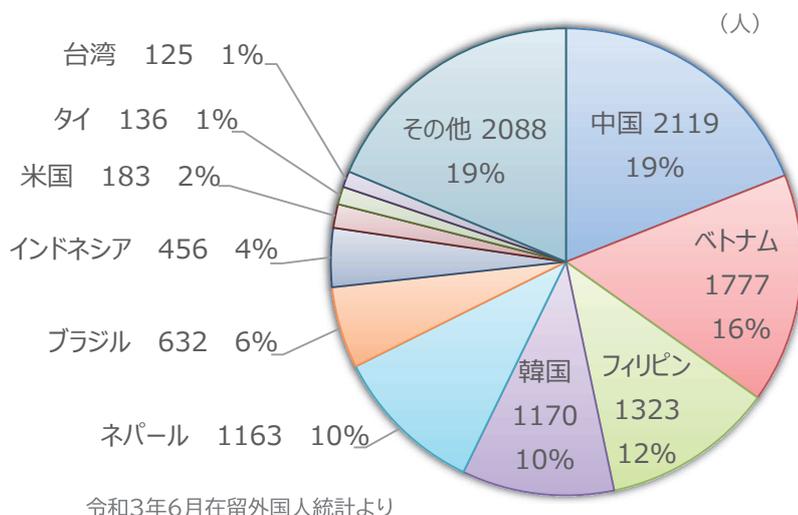
政府は、少子高齢化にともなう人手不足などにより、外国人労働者の受け入れを拡大しており、静岡市内においても、外国人の数は増えつつあります。その一方で、市内の15～64歳の生産活動を主に担う年齢の減少傾向は著しく、今後もさらに減ることが予測されています。そのため女性、高齢者、外国人など、より多様な人材の活躍が期待されます。



静岡市にはさまざまな国籍の外国人が居住している

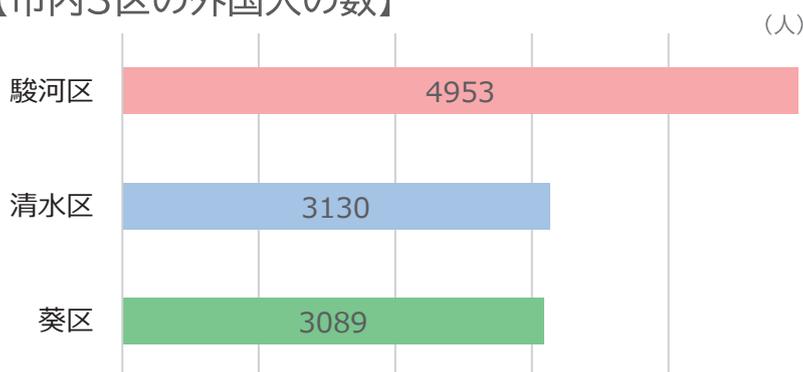
浜松市はブラジル人住民が、全外国人の約4割を占めるので、ポルトガル語を使うことで、コミュニケーションが成り立つ地域もあるようです。しかし、静岡市で生活をする外国人の国籍は多岐にわたり、自治会によっては、8か国もの住民が暮らしているところもあるので、一つの言語で対応することが難しいのが現状です。一概に外国人ではまとめられない背景を理解する必要があります。

【静岡市 外国人の国籍】



駿河区、清水区、葵区の順に外国人が多く暮らしている

【市内3区の外国人の数】



大学や専門学校、日本語学校、工場などが多い駿河区には、外国人住民が多く生活しています。一方、葵区の多くを占める中山間地域には外国人が少ないので地域により、課題意識が異なることがわかります。

令和3年6月在留外国人統計より

外国人と自治会・町内会の現状

安心で安全な暮らしを支える「自治会・町内会」は、そこに暮らす外国人も関係します。今後、外国人の増加が見込まれるなか、どのようにしていったらよいのか考えます。

自治会長の4人にひとりが外国人住民との共生に課題があると感じている

R2静岡市全自治会・町内会アンケートより

令和2年度に実施した「静岡市全自治会・町内会アンケート」において、外国人との共生や情報共有が難しいと回答した会長は262名で、全会長のおよそ4分の1でした。全ての自治会・町内会に外国人がいるわけではないことを考えると、外国人との共生について難しいと感じている方が少なくないことがわかりました。

「以下の項目について課題だと思えますか？」から外国人にまつわる回答を抜き出し

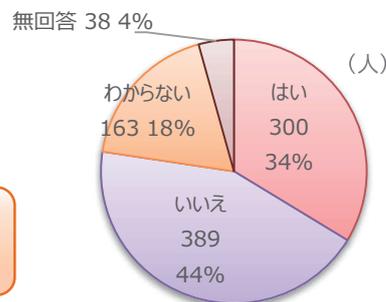
単位:自治会・町内会



外国人にとっての地域や自治会・町内会（『外国人住民アンケート2020』より）

自治会・町内会に加入している外国人は全体の3割で、地域活動への参加者も少なくありません。日本に興味を持って来日している外国人も多いので、日本について学びたい、日本の行事に参加をしたいという希望も少なくなく、将来的に日本への定住を希望する外国人も多いようです

あなたは自治会・町内会に入っていますか？

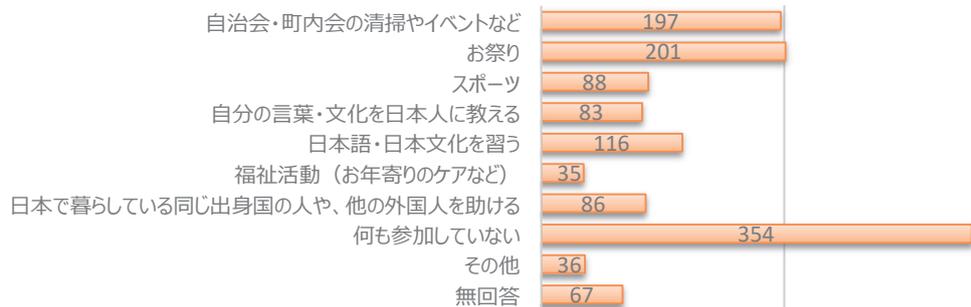


【外国人住民アンケート2020(静岡市)】

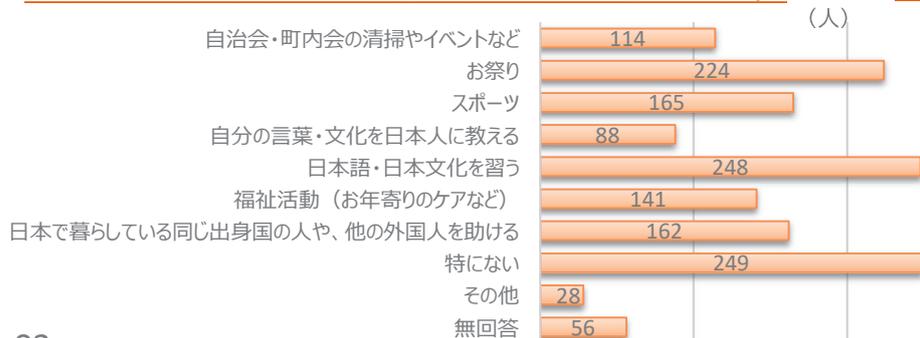
対象：静岡市在住の18歳以上の外国籍市民(無作為抽出)
 調査方法：調査依頼(8言語)と調査票(フリガナ付き日本語)を郵送またはインターネット(8言語回答フォーム)で回答
 調査期間：令和2年10月14日～11月10日
 発送数：3,000
 有効回収票：890(29.7%)

『外国人住民アンケート2020』アンケート結果から

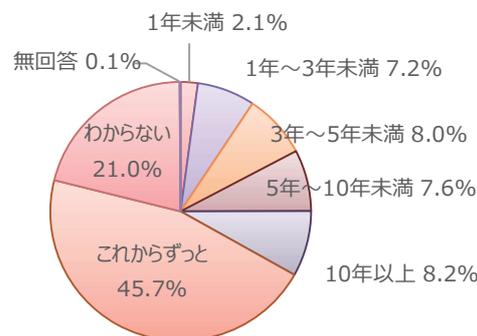
あなたが今している活動を選んでください(いくつでも)



あなたがこれからしてみたい活動はありますか？(いくつでも)



あなたは今後日本にどのくらい住む予定ですか？



外国人との共生について自治会長を対象にアンケートを実施

今後の外国人との共生に役立てるために、市内の自治会長・町内会長を対象としたアンケートを実施し、具体的な課題や先行事例を調査しました。

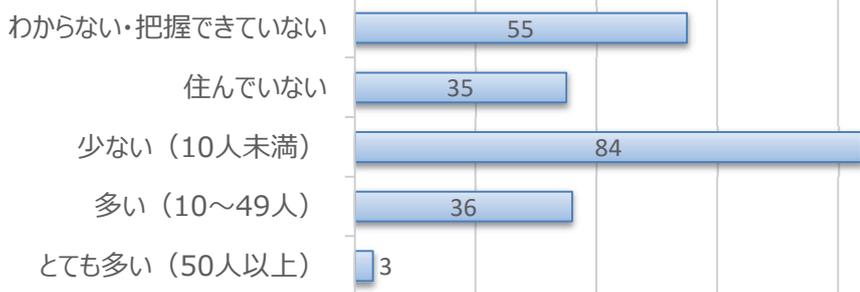
実施名	: 外国人住民と自治会の在り方に関するアンケート
実施者	: 静岡市 市民自治推進課・国際交流課
対象	: 「令和2年度 静岡市全自治会・町内会アンケート」において、「外国人住民との共生について課題だと思う」と回答した自治会長262名と、外国人住民と共生しているので回答したいと依頼のあった会長3名
実施期間	: 令和3年9～12月
回答率	: 81.1% (配布数265通のうち回答215通)
企画・分析	: 里山くらしLABO

外国人の居住は把握が難しい？！

あなたの地域には、およそ何人くらいの外国人が居住していますか？

(あてはまるもの一つに○)

単位:自治会・町内会



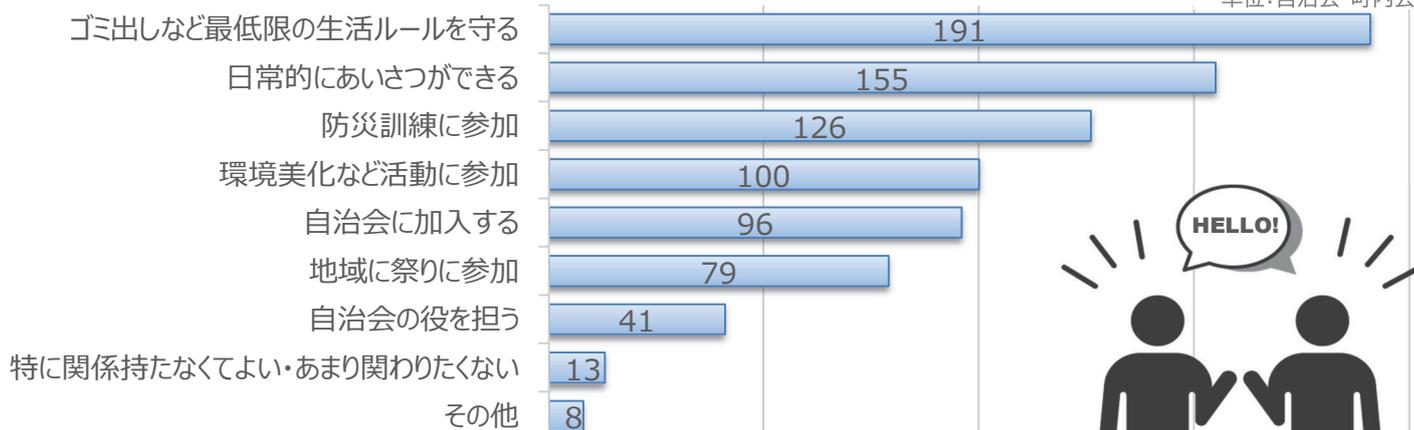
外国人は、滞在期間が短かったり、そもそも自治会・町内会の存在を知らなかったりすることも多いため、自治会・町内会に入らない人が多く、地域において正確な人数を把握することが難しいのが現状のようです。これは学生の数を把握するのが難しいこととよく似ていますが、有事の際を考えると、何らかの方法で確認ができた方がよさそうです。

外国人との関係で必要なのは、生活のマナー

多くの会長が外国人に対して求めていることは、自治会・町内会への加入や役を担うこと以前に、ごみ出しのルールを守ったり、あいさつができるといった日常生活における普通の生活のマナーだということがわかりました。また、防災訓練に参加してほしいという回答も多く、外国人であっても同じ地域に生活をしている限り、有事の際には、互いに助け合う必要があることを認識している会長が多い結果とも言えそうです。

地域に居住する外国人との関係は、どのような関係がよいと思いますか？ (あてはまるもの全てに○)

単位:自治会・町内会

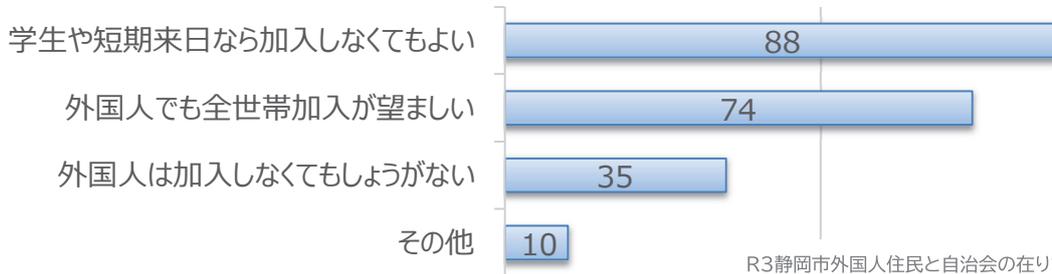


外国人との共生① 自治会・町内会活動

外国人の自治会・町内会加入については、意見が分かれている

外国人の自治会加入についてどう考えていますか？（最もあてはまるものに○）

単位：自治会・町内会



R3静岡市外国人住民と自治会の在り方に関するアンケートより

静岡市では、永住者が最も多いのですが、次いで多いのが、留学生や技能実習生など、日本人の学生のように滞在期間が決まっている外国人です。自治会への加入を考えた時に、数年で入れ替わる外国人を把握し、滞在の確認や、自治会への勧誘を行うのは、かなりの労力や工夫が必要になりそうです。

ポイント01 外国人の滞在はさまざまであることを理解して対応する

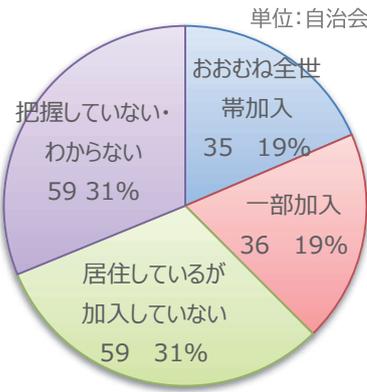
外国人は滞在目的によって在留資格が異なります。静岡市は「留学」の方の割合が高く、「技能実習」が増加しているのが特徴です。留学生や技能実習生は学校や企業が関わっているため、学校や企業に相談することも有効です。数年で帰国することが前提の外国人もいるためすべての外国人に自治会加入を求めるのではなく、来日の目的を知り、どのレベルの共生を求めるのかを検討した方がよさそうです。

【外国人の在留資格別人数】

※在留資格・期間は変更・更新することがあります。

おもな在留資格 (おもな在留期間)	説明	静岡市	静岡県	全国
		人数(人) 全体に占める 割合	人数(人) 全体に占める 割合	人数(人) 全体に占める 割合
永住者 (無期限)	・永住許可を受けた者 ・活動制限なし	2,894 26%	38,176 38%	793,164 27%
留学 (4年3月を超えない範囲)	・大学、専門学校、日本語学校等の学生 ・資格外活動許可による一定範囲内で就労可	1,978 18%	4,196 4%	345,791 12%
技能実習 (2年を超えない範囲)	・技能実習生	1,692 15%	15,943 16%	410,972 14%
特別永住者 無期限	・在日朝鮮人・韓国人・台湾人とその子孫 ・入管特例法に規定	1,118 10%	3,198 3%	312,501 11%
技術・人文知識・国際業務 (5年,3年,1年又は3月)	・機械工学等の技術者、通訳、デザイナー、語学講師等	796 7%	4,952 5%	271,999 9%
家族滞在 (5年,3年,1年,又は6月)	・就労資格等で在留する外国人の配偶者、子 ・資格外活動許可による一定範囲内で就労可	638 6%	2,807 3%	201,423 7%
日本人の配偶者 (5年を超えない範囲)	・日本人の実子、配偶者、特別養子 ・活動制限なし	613 6%	6,079 6%	145,254 5%
定住者 (5年を超えない範囲)	・日系3世、外国人配偶者の連れ子等 ・活動制限なし	556 5%	19,441 19%	204,787 7%

あなたの地域の外国人は、自治会・町内会に加入していますか？



R3静岡市外国人住民と自治会の在り方に関するアンケートより

静岡市自治会連合会作成 外国人向け自治会・町内会加入ガイド

自治会・町内会に入りましょう(お知らせ)

(英語) Invitation to Join the Residents' Association (中国語) 加入自治会・町内会吧!
(ポルトガル語) Convide para ingressar na Associação de Moradores de Bairro (スペイン語) Invitación a unirse a la asociación de vecinos
(ベトナム語) Hãy cùng tham gia tổ dân phố (Uchikai, Chounaikai) (thông báo) (ネパール語) स्वागत गर्नुहुन्छ। यहाँको बासिन्दाहरूको लागि स्वागत गर्नुहुन्छ।

「自治会・町内会」に入りませんか？必ず読んでください。
(英語) Read on to learn about the benefits of participating in your Residents' Association (Jichikai or Chounaikai). (中国語) 加入「自治会・町内会」吗？请务必阅读
(ポルトガル語) Vamos lá participar da Associação de Moradores de Bairro (Jichikai-Chounaikai) !! Por favor, leia até o fim! (スペイン語) Por favor, asegúrese de leer este documento para conocer los beneficios de participar en la asociación de vecinos.
(ベトナム語) Bạn có muốn tham gia "tổ dân phố" không? Nhất định hãy tham khảo nhé. (ネパール語) स्वागत गर्नुहुन्छ। यहाँको बासिन्दाहरूको लागि स्वागत गर्नुहुन्छ।

「自治会・町内会」に入ると、近くに住む人たちとなかよくなれます。日本の生活に慣れるためのお手伝いもします。あなたも参加しませんか。
(英語) Participating in the Residents' Association is a great opportunity to get to know your neighbors and will help you get used to life in Shizuoka. Why not join us? (中国語) 加入「自治会・町内会」，可以更好地了解邻居们和「自治会・町内会」，可以帮助你习惯日本的生活。你也参加吧？
(ポルトガル語) Participar da Associação de Moradores é uma ótima oportunidade para conhecer seus vizinhos e ir ajudá-lo no seu cotidiano. Por que não se juntar a nós? (スペイン語) Participar en la asociación de vecinos es una gran oportunidad para conocer a sus vecinos y le ayudará a acostumbrarse a la vida en Shizuoka. ¿No le gustaría participar?
(ベトナム語) Khi bạn tham gia vào "tổ dân phố", bạn sẽ có thể làm quen với những người sinh sống gần đó. Chúng tôi sẽ được giúp đỡ trong việc làm quen với cuộc sống ở Nhật. Bạn cũng muốn tham gia không?
(ネパール語) 「स्वागत गर्नुहुन्छ। यहाँको बासिन्दाहरूको लागि स्वागत गर्नुहुन्छ।」 यहाँको बासिन्दाहरूको लागि स्वागत गर्नुहुन्छ। यहाँको बासिन्दाहरूको लागि स्वागत गर्नुहुन्छ।

ホームページでも見ることができます▶

静岡市自治会連合会

(英語) Shizuoka-shi Residents' Association Federation (中国語) 静岡市自治会連合会
(ポルトガル語) Federação da Associação de Moradores da Cidade de Shizuoka (スペイン語) Federación de Asociaciones de Vecinos de la Ciudad de Shizuoka
(ベトナム語) Hiệp hội dân cư thành phố Shizuoka (ネパール語) शिवुकीया नगरवासीको स्वागत गर्नुहुन्छ। स्वागत गर्नुहुन्छ।

ポイント02 外国人向け加入ガイドの活用

令和2年度に外国人向けの「自治会加入のお知らせ」が完成配布しました。転入時に窓口で渡されており、各区役所でも、もらえます。オンラインでもデータが公開されていますので、みなさまの自治会・町内会活動にお役立てください。



【QRコード】外国人向け加入案内インターネットでご覧になれます。各言語版をダウンロードできます。

【問合せ】静岡市自治会連合会
電話 054-221-1568

- 【対応言語】
- やさしい日本語
 - 英語
 - 中国語
 - ポルトガル語
 - スペイン語
 - ベトナム語
 - ネパール語

ポイント03 自治会・町内会が何をしているのかを伝え、理解してもらう

外国では、自治会・町内会というような近隣住民によるコミュニティ組織が存在しないことも珍しくありません。まずは、「外国人向け加入ガイド」などを活用し、日本の良さともいえる自治会・町内会のメリットや、近隣住民と仲良くなることの大切さを伝え、関心を持ってもらいましょう。

ポイント04 外国人に他の外国人を誘ってもらう

同じ国のコミュニティや職場、学校など、近隣に暮らす外国人同士が友人だったり、つながっていることも考えられます。言葉の壁を感じたり、コミュニケーションが取りにくい場合は、他の外国人から声を掛けてもらうこともひとつの方法です。

ポイント05 企業や日本語学校、大家などへ協力を依頼する

日本人同士でも近隣とのトラブルがあるように、外国人との共生も、困りごとの解決に向けてうまくいかないこともあります。外国人に身近な存在である勤務先の人や、通っている日本語学校の職員、アパートの大家さんなどに相談し、仲介してもらうことで改善することもあります。静岡市は、外国人と共生する日本人からの相談にも対応する「静岡市多文化共生総合相談センター」を開設しています。ご利用ください。

【問合せ】静岡市多文化共生総合相談センター
(平日8:30~17:15 年末年始を除く)
電話 054-354-2009
または 054-273-5931

外国人との共生① 自治会・町内会活動

外国人との共生「うれしかったこと」

R3外国人住民と自治会の在り方に関するアンケートより

コミュニケーション

外国人の奥様が英会話教室を開いて近隣の子どもたちや住民との交流を積極的に行っている。

日常のあいさつに呼応してくれた時。

見るからに外国人なのに、話をしたら日本語がばっちりで、とても良い人物で驚いた。見た目じゃないんだと感じた。自治会長という立場じゃなかったらとてもじゃないけど話しかけられなかった。

国勢調査は、手順を踏んで、調査の意図を理解してもらった外国人住民からは、全て回答を得られています。最初から色眼鏡でみたり宗教的な相違に違和感を抱いたりすべきではないと強く感じます。

誠意をもって対応すればわかってくださる外国人の方々との出会いによって改善が出来て良かった。コロナ禍や仕事の都合で彼らが転居せざるを得ない状況はさみしかった。

自治会のルールを彼等なりに理解してくれた事。

スポーツ祭に参加してもらった。

外国人が地域祭礼などの地域の行事に積極的に参加し、地域住民と交流しているのを見ると素晴らしい事だと思います。

活動への参加

運動会、防災訓練などに取り組んで良かった。

自治会の夏祭りに夜店を出店してくれた。

11月に作品展を開催していますが、外国人留学生が観覧に来てくださり、大変喜んでいたのが役員一同印象に残っています。

カタコトの日本語だけど、組長を担ってくれていて防災訓練にも参加してくれている。

今年度一緒に役員をしています。班長は日本に20年以上住んでいる方です。まじめに活動してくださり助かっています。

私たちの自治会では会計を5年以上やってくれています。日本語もペラペラで日本人以上です。

担い手として

毎月の団地内清掃日に参加してもらっている。資源ごみ収集日に当番として早い時間から参加。(本人は組長)

自治会役員の輪番表に基づき、日本人外国人を問わず全員参加で、自治会運営ができています。

外国人夫婦が自治会に入会し、運悪くいきなり組長になった。少し時間はかかるものの、何とか組長の役目を果たしているのには感心しています。

当町内会在住の外国人は、その組の新年会などにも参加し、溶け込んでいます。隣人との交流もあります。

日本との違い座談会

日本にくらして
わかる海外と
日本の違い



【参加して下さった方・来日年数】
Mさん(ミャンマー):7年
Sさん(台湾):26年
Kさん(中国):32年
Gさん(ネパール):6年
Uさん(ネパール):7年

ご協力ありがとうございました!

言葉の違いはもちろんですが、日本では当たり前のことがそうではないのが、多文化共生の基本です。問題になることもあります。一方、面白く感じることもあります。さまざまな国によって異なる「地域」について、各国の方から教えてもらいました。

司会:誰に日本の生活を教えてもらいましたか?

Mさん(ミャンマー):留学のときの学校や、アルバイト先の人から教えてくれました。
Sさん(台湾):本で調べてきました。あとは、会社の人とか。
Kさん(中国):日本の人は親切でいろいろ教えてくれました。あと、自分でも調べたり、ボランティアの人も色々教えてくれました。
Gさん(ネパール):旦那さんが、先に日本で暮らしていたので、私は旦那さんに教えてもらいました。
Uさん(ネパール):旦那さんや、日本人の友達です。
全員:会社の日本人の人が、いろいろ教えてくれますね。

司会:みなさんの国に自治会はありますか?

Mさん(ミャンマー):ないですね。
Sさん(台湾):台湾には同じようなものがありますね。お祭りとかをやっています。
Kさん(中国):中国は少し違いますが、あると言えるのかも。でも、それよりも会社や所属している団体の関係が強いです。
Gさん(ネパール)Uさん(ネパール):ネパールにはあります。お祭りをしたり、地域の問題について話し合ったりしてます。

司会:日本の自治会に入って、よかったと思うことはありますか?

Mさん(ミャンマー):よかったです。日本人とコミュニケーションがとれることが、とてもよいと思います。
Sさん(台湾):よかったです。周りの人と話をする機会になりました。
Kさん(中国):私もよかったです。他の人と交流することができるようになりました。
Gさん(ネパール):よかったですね。他の人と話せます。日本人ではない、他の国の人とも話せることもあります。
Uさん(ネパール):よかったです。

司会:みなさんの国とごみの捨て方に違いがありますか?

Mさん(ミャンマー):ごみの分別はあまりないですが、鉄と木材だけは、分けています。捨てることは毎日できます。
Sさん(台湾):毎日捨てられます。資源となるものを回収して、お金にしている人たちがいます。日本よりも紙包装が多いと思います。

Kさん(中国):昔は違いましたが、最近はお金を分けていますね。ただ、日本と違って毎日捨てられます。
Gさん(ネパール)、Uさん(ネパール):資源になるごみを回収して、それを現金にしている人たちがいます。

司会:ごみの捨て方でわからなかったことはありますか?

Mさん(ミャンマー):日本の人たちが、よく教えてくれました。
Uさん(ネパール):難しく、割れたガラスの捨て方が今でもわかりません。家に溜まってしまっています。

司会:みなさんの国に防災訓練はありますか?

Mさん(ミャンマー):ないですね。
Gさん(ネパール)、Uさん(ネパール):ないです。でも、ネパールは避難をするところがたくさんあります。

司会:みなさんは災害で不安なことはありますか?

Mさん(ミャンマー):地震はこわいですね。普段から備蓄をしておくといくと、日本人が教えてくれました。
Sさん(台湾):ここは洪水とかはないと思いますが、地震がくるのは不安だから、水とかコンロを準備してあります。

司会:自治会の役員をやることに不安はないですか?

Mさん(ミャンマー):今の自治会長がちゃんと教えてくれるので不安はないのだけど、仕事をやっていると、会議とかに出れないので、それが心配です。
Kさん(中国):とくに不安はなかったです。
Uさん(ネパール):不安はなかったです。

司会:他の外国人に自治会に入ってもらうにはどうしたらよいと思いますか?

Mさん(ミャンマー):なかなか難しいかもしれません。学校や会社で自治会について教えてあげて、誘ってあげることが良いかもしれませんが、自分も3回引越しましたが、これまでのアパートでは、誘われたことがなかったです。誘われていたら、入ったかもしれないけど、誘われないので、自治会に入るとか、考えることもなかったです。
Sさん(台湾):これまで住んでいたところでは、自治会に誘われることがなかったです。これまでの地域で入ってと言われたら、お互いに面倒くさいと思ったかもしれません。
Kさん(中国):私の住んでいた地域は、入居した時点で自治会に入ることが決まっているので、自然と入りました。

外国人との共生② コミュニケーション

課題となっていること

課題としての大小はありますが、自治会・町内会では言語が、ひとつの壁になっているようです。

読み書きの問題もあり、日本人と同様な対応には難しい面もあると思います。

言葉が通じないので私共では面倒をみきれない。

言葉の問題から、伝えられていないので、災害時の対応を行政や支援機関にお願いしたい。

言葉、文字が壁になってお互い近づけない状態にあると思う。

R3外国人住民と自治会の在り方に関するアンケートより

しかも、外国人の母国によって言葉が異なり、多岐におよぶので、それぞれの言語にあわせてコミュニケーションをとることは、難しいこともわかります。

静岡で生活する主な外国人の母国語

国名	母国語	国名	母国語
中国	中国語（簡体字）	ミャンマー	ミャンマー語
ベトナム	ベトナム語	ブラジル	ポルトガル語
フィリピン	フィリピン語・英語	インドネシア	インドネシア語
韓国	韓国語	スリランカ	シンハラ語・タミル語
ネパール	ネパール語	アメリカ	英語

ポイント01 // まずは日本語で「こんにちは」のあいさつから

言葉が通じなくても、あいさつや笑顔がきっかけになるようです。

あいさつは大事！相手も人だから。
（森下学区連合自治会長 中村さん）

小さな子ども連れの外国人家庭が多いので、お子さんに「こんにちは、かわいいね。何歳かな？」と声掛けをすることからはじめました。
（有東高層団地自治会長 山田さん）

とにかく話し合う事、それも笑顔で!! だいたいの問題はこれで解決しました

常に笑顔で対応すれば問題ない。お互いに安心することが大事

片言の話でなんとかかわかってくれました

こんにちは



R3外国人住民と自治会の在り方に関するアンケートより

ポイント02

「やさしい日本語」を使う

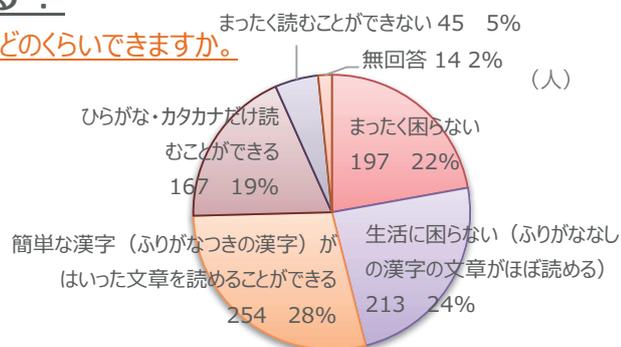
言語の種類を問わず、日本で生活する外国人とコミュニケーションがとりやすい「やさしい日本語」を使ってみませんか。わかりやすい話し方や文章のことなので、外国語に翻訳するより、少ない負担でより多くの外国人とコミュニケーションをとることができます。

8割の外国人がやさしい日本語なら理解できる！

外国人にとって難しいと言われている日本語を読むことも、「やさしい日本語」であれば、およそ8割の外国人が理解できるというアンケート結果があります。

自治会活動に役立つ「やさしい日本語」23ページから！

日本語を「読むこと」はどのくらいできますか。



静岡市外国人住民アンケート2020より

ポイント03

インターネット翻訳を活用する

入力するだけで100以上の言葉に翻訳できるようなサイトがあります。スピーカーマークを押せば翻訳が音声で流れるので翻訳機としても使えます。インターネットにつながれば、だれでも無料で使うことができる手軽なツールです。

(例) Google翻訳



①『Google翻訳』で検索!

②翻訳したい言語を選びます

③翻訳したい内容を入力します

④翻訳された内容が出てきます

⑤スピーカーマークを押すと翻訳内容が音声で流れます

やさしい日本語が役立ちます!

ポイント!

- ・短く単純で簡潔な文章にする
- ・翻訳サイトのみならず、確認をしたり、ジェスチャーを使ったりすることをあわせるとより確実な意思疎通へとつながります

地域で多文化共生を広めるために

静岡市国際交流課では、自治会・町内会の希望に合わせて出前講座を開くなど、地域に根差した多文化共生のための様々な取組を行っています。外国の文化や生活習慣の理解、「やさしい日本語」を使ったコミュニケーションなど、講座のテーマについて相談もでき、無料で開くことができます。ぜひ、相談してください。



【問合せ】 静岡市国際交流課 多文化共生推進係
電話 054-221-1303

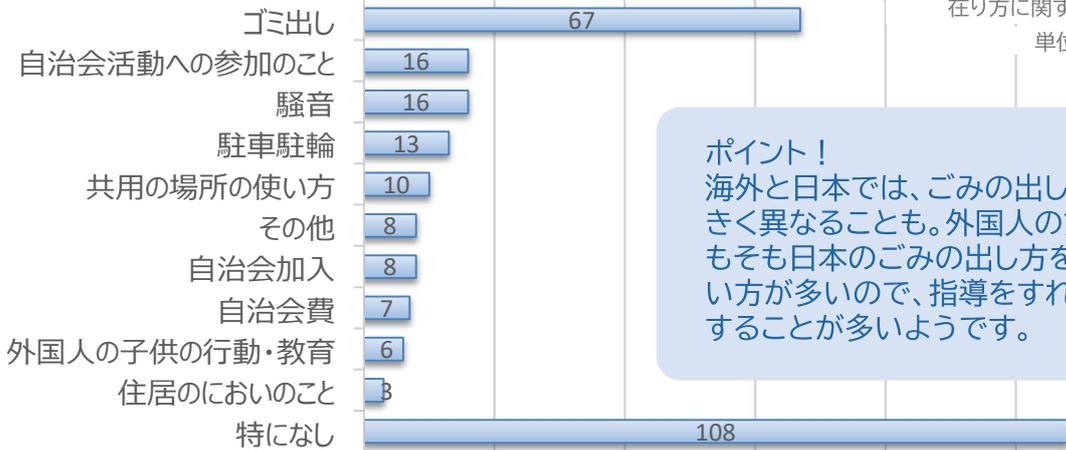
外国人との共生③ ごみ出し

多くの自治会で課題となっているのは「ごみ出し」

ごみ出しについて課題だと感じている会長が多いことがわかりました。

外国人との共生において、あなたの自治会・町内会で課題となっていることは何ですか？

(あてはまるものを全てに○)



R3静岡市外国人住民と自治会の在り方に関するアンケートより
単位:自治会・町内会

ポイント!
海外と日本では、ごみの出し方が大きく異なることも。外国人の方は、そもそも日本のごみの出し方を知らない方が多いので、指導をすれば改善することが多いようです。



静岡市ごみ減量啓発キャラクター「しずもちゃん」

取組事例:駿河区中田本町自治会

外国人と共生する中田本町では、一部の地域で、ごみの出し方のマナー違反が目立つようになっていました。そこで、自治会が廃棄物減量等推進員とともに、町内独自で改善に取り組みました。

①マナー違反のごみに注意書きを貼る

違反があったごみに貼り付けて理解してもらえるようにしています。英語への翻訳はインターネットで検索し、英語が得意な住民に確認をしてもらいました。



②英語版「資源回収カレンダー」を作成

日本語で作っている町内の資源回収カレンダーを英語に翻訳しています。最初は個別訪問で配布をしましたが、今は管理会社を通して外国人に渡してもらうようにしています。

NAKADA HONCHO
Community Association

**To the person
Living in Nakada Honcho**

Keep the manners.

2021 Resource collection calendar

Month	Used Paper	Bottles · Cans	Month	Used Paper	Bottles · Cans
4	21st	22nd	10	20th	28th
5	19th	27th	11	17th	25th
6	16th	24th	12	15th	23rd
7	21st	22nd	2022 1	19th	27th
8	18th	26th	2	16th	24th
9	15th	23rd	3	16th	24th

※ **Used Paper** The third Wednesday of every month.
 ※ **Bottles, Cans** The fourth Thursday of every month.
 ※ The collection time is eight thirty. (8:30 a.m.)

Burnable garbage is Tuesday and Friday every week.

Please look at the Trash collection guide
 Five languages (Japanese, English, Portuguese, Spanish, Chinese) →

2019.3.20

ポイント01 // ごみ出しについて知ってもらう

【ポルトガル語で作成した看板の例(磐田市)】

「やさしい日本語」で説明をする

ごみの出し方を知らない外国人の方が多いので、ごみの出し方を「やさしい日本語」や外国語で作成し、配布をしたり、掲示をしたりすることも有効です。

【ごみの出し方「やさしい日本語」の例文】

ごみの出し方

ごみは出す日が決まっています。わけて出します。
 決まっている場所に 出します。
 静岡市の決められたごみ袋に入れて出します。
 夜に出したらだめです。
 動物が食べ物を探して汚します。

ごみのわけ方

- 燃えるごみ
 - ・○曜日と○曜日の朝に出せます。
 - ・朝8:30までに 出します。
 - ・決まった場所に 出します。
 - ・ごみに網をかけてください。

●びん・缶・なべ・やかんなどの日用品

- ・月1回 出せます。
- ・毎月第○ ○曜日です。
- ・朝8:30 までに 出します。

●燃えないごみ・家具などの大きなごみ

- ・電話で 予約を します。(☎0120-532-471)
- ・インターネット予約も できます。
- ・家庭で 1か月に 1回出せます。
- ・ごみは 7つまで 出せます。
- ・ごみに「不用」と書き、名前を書いた紙を 貼ります。



看板を掲示する

ごみの収集場所に、外国語や「やさしい日本語」による、ごみの出し方の看板を設置し、ごみの分別をわかりやすくすることも一定の効果があるようです。



- ・集積所で使用する掲示板の材料（白紙のアルミ板等）をお渡しすることもできます。
- ・ただし、お渡しできるのは自治会長・廃棄物減量等推進員に限ります。
- ・在庫に限りがありますのでご了承ください。

【問合せ】

静岡市 収集業務課 適正排出推進係
 電話 054-221-1365

ポイント02 // ごみの説明会を開催する

静岡市では、「市政出前講座」を開催しております。収集業務課が実施する講座では、ごみの出し方や分別についてわかりやすく説明します。外国人向けに「やさしい日本語」で実施することも可能です。詳細についてはお問い合わせください。



【問合せ】

静岡市 収集業務課 適正排出推進係
 電話 054-221-1365

今回のアンケートでは、多くの会長が、ごみ出しの改善のために、さまざまな対応をされていることがわかりました。参考になることがとても多いです。

R3静岡市外国人住民と自治会の在り方に関するアンケートより

	実施したこと
<p>ゴミ出しについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・直接本人と話した。 ・ごみ出しのルール（曜日、時間）の看板を出した。 ・日本語がわからないといけないので、看板に英語を追加した。 ・直接本人に話したり、大家さんに頼んだりしたら、わかってくれて良好な感じになりました。 ・ゴミのネットをボックスタイプに変えたら、ゴミの分別が少しずつではあるが改善されつつあります。 ・ビン、缶、ペットボトルの分別回収の仕組みを大きなイラストを描いて手渡して改善しました。 ・仕事先の会社で通訳を通じてゴミの分別について説明してもらい、改善しました。 ・ゴミ袋がない、分別できていないゴミ袋は勤務先の会社に引き取ってもらいました。 ・「静岡市ごみの出し方ガイドブック」を配布しました。 ・グループのリーダーらしき方と話し合い、説明や通達をしてもらいました。 ・ゴミの出し方について管理会社を通してルールを守るよう周知していただきました。 ・就労先に従業員である社員教育として指導してもらいました。 ・週に1回程度、ゴミ捨て場に人を配置しました。 ・外国人用の注意パンフレットを作成して、各戸に配布しました。 ・管理会社やオーナーをお願いをしました。 ・ごみ出しルールの回覧を強化しました。 ・同じマンション住民の日本人に指導してもらいました。 ・指定以外の場所に生ごみを出す方へは、市の担当者に指導してもらいました。 ・最初は遅くまで騒いで飲み会をしていたり、ごみ出しが乱雑だったり、色々ありました。企業の担当者と自治会で実習生に生活規範を伝え、近隣住民へ挨拶廻りをするなどしてもらいました。 ・外国人の側に立ち、何が困っているか聞く事が結論としてよかったです。 ・最初に生活の基礎を教えることが大事でした。 ・片言の話と、絵を見せて理解してもらいました。 ・ごみの問題はお国が違うと全然トンチンカンでしたが、団地のルールを理解してもらうため、話し合うことで改善しました。特に小さい子どもがいる家庭には尚更のことでした。 <p>【コミュニケーションを大事にすることで改善へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人にも近所廻りをしてもらい、お互いに顔を知ることで安心感が生まれました。その後慣れてきたらお祭りや避難訓練等に参加してもらい、お互いに理解を深めていくようにしています。 ・声掛けからはじめる仲間意識への導きが大切です。 ・言葉の問題、掲示板の日本語が分からないと意見がありましたが、話し合えば理解してくれました。また組長についても、他の組員さんが指導してくれて理解がすすみました。
<p>その他の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民によるごみの出し方は改善しましたが、その外国人の家にやってくる同じ国の友人らが、無法で困りました。 ・むしろ自治会未加入の集合住宅居住者から出されてくる廃棄物の多さに悩まされています。 ・改善しても、入れ替わりが激しいので新しい人への申し送りができず、入れ替わったか否かすら把握ができないので困っています。



外国人との共生④ 地域防災

安心・安全なまちづくりにおいて、防災活動は欠かすことが出来ません。それは、外国人にとっても同じであり、防災は大きな課題です。外国人のなかには、防災活動をきっかけに地域活動へ参加する方もいるようです。

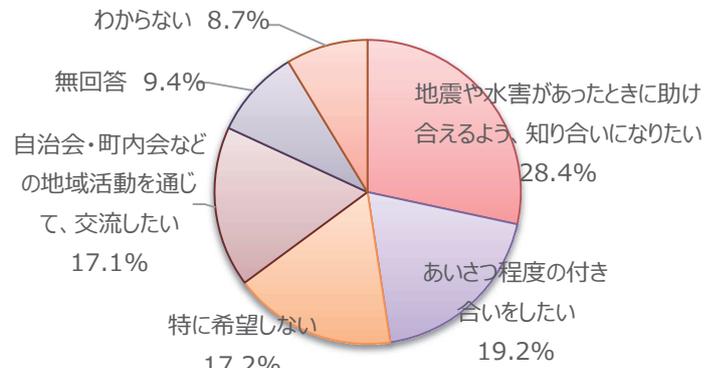
外国人の防災意識

日本人とのつながりについてたずねたところ、災害時の共助のためにつながりたいという外国人が、3割ほどいることがわかりました。

自治会長・町内会長のなかに、災害時の外国人とのやりとりを不安に思う方がいるように、外国人も災害時には、日本人と助け合えたらいいと思っている方が多いようです。互いのニーズをすりあわせることで改善できることがありそうです。

阪神・淡路大震災のときに「『避難』の意味が分からなかった」という外国人の話があります。防災については、言葉の違いをはじめとし、災害に対する理解度の違いを前提に、目的を明確にし、お互いに共有しながら進める必要があります。

地域の日本人とのつながりについて、どのように思いますか。



静岡市外国人住民アンケート2020より

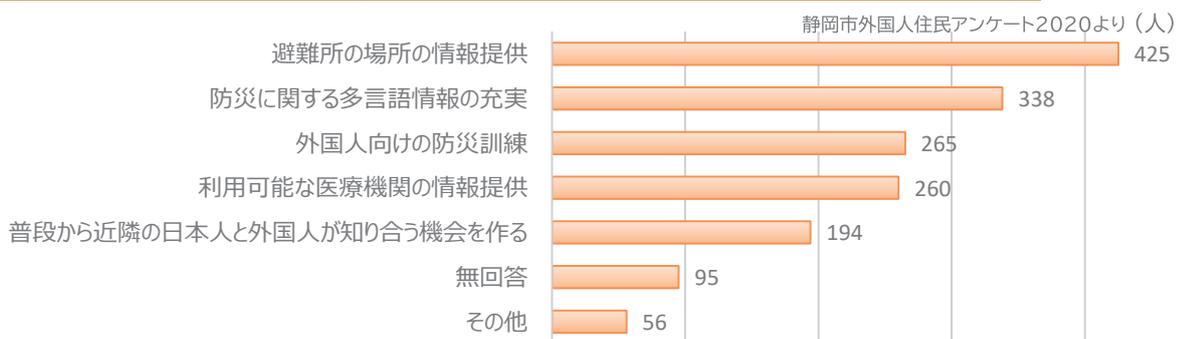
外国人被災者への留意点

- ・地震の経験がない外国人がいる。
- ・日本語の緊急情報がわからない。
- ・地震発生直後の対処方法や避難先がわからない。



静岡県地震防災センターで開催した外国人向け防災セミナー

災害対策（地震・津波・風水害等）として静岡市に何を望みますか。（○はいくつでも）



静岡市外国人住民アンケート2020より（人）

災害時に情報が重要であることは、外国人にとっても同じです。平時から備えることで、災害時の負担を減らすことが可能です。そのためにも、外国人に自治会・町内会の役割を伝え、理解してもらう必要があります。

ポイント01 日本での災害や防災訓練を知ってもらう

外国人には、そもそも災害を知らず、何をどうしたらいいのかわからない方も多いです。日本の災害を知ってもらい、事前に備えてもらうことは有効です。



【QRコード】
インターネットで
ご覧になれます。

外国人の方へ
災害から身を守ろう!
How to Mitigate Disasters - A Guide for Foreign Nationals in Japan

1 日本の自然災害を知ろう
日本には、自然災害（地震、つなみ、台風、つよい雨など）がたくさんあります。6月から10月は、台風、つよい雨がふります。災害が起きた時は、いつもの生活ができなくなります。

2 災害がおきる前に 準備しよう
被害を少なくするため、災害がおきる前に準備をしておきましょう。
自分でできる準備
にげる時の 持ちものを準備する
地域でできる準備
災害がおきたときは、地域のつながりが助けになります。地域の防災訓練（にげる訓練）や、おうちでいかに安全に過ごすかを学びましょう。

3 災害の情報を確認しよう
災害の情報がわかる アプリや WEB サイトがあります。事前に、スマートフォン（けいたい電話）などに登録してください。とくに、台風は 前もって わかります。

4 安全に避難しよう（にげよう）
災害がおきた時、あぶない場所にいる人は、安全な場所へにげてください。にげる場所は、小学校・中学校などの公共施設です。ご自身の家で、安全ににげる方法をたしかめてください。

地震・つなみの時
海のちかくで、地震を感じた時は、高いところににげてください。

つよい雨の時
川や崖（あかのちかく）に近づかないでください。

つなみのときは、つなみから身を守るために、高いところににげてください。

See this info in your own language. このガイドには、いろいろな言語の、このガイドがあります。

QR Translator
English 簡体中文 繁体中文 한국어 Portuguese Español Bahasa Indonesia
Tibet Writ Tagalog urdu Urdu नेपाल भाषा Azərbaycan Azərbaycan Mojarik 328

発行先：内閣府 監修：国土庁 編集：渡辺 誠一、藤田 隆一、藤田 隆一

「内閣府 防災情報のページ」
『外国人のための減災ポイント』
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/gensai/>

【対応言語】

- ・英語 ・中国語 ・韓国語 ・スペイン語 ・ポルトガル語
- ・ベトナム語 ・タイ語 ・インドネシア語 ・タガログ語
- ・ネパール語 ・クメール語 ・ビルマ語 ・モンゴル語

静岡県『外国人住民のための
避難生活ガイドブック』
やさしい日本語版・多言語版
<https://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-160/bousaitest.html>



【QRコード】
インターネットで
ご覧になれます。

防災のポイント
をやさしい日
本語などで説
明しています。

- ・地震とは？
- ・地震がおきたら？
- ・避難所の生活
- ・地震が来る前の準備
- ・大雨・台風するとき など

【対応言語】

- ・英語 ・ポルトガル語
- ・フィリピン語
- ・インドネシア語
- ・やさしい日本語

ポイント02 防災訓練への参加を促す

【防災訓練の説明】

災害時には、国籍に関係なく、近隣の住民で助け合うことが必要になります。

「何のための訓練なのか」

「何をするのか」

「何をしてほしいのか」など訓練の目的を説明し、防災訓練への参加を促すことが、大切です。外国人に外国人を誘ってもらうのも有効です。



〇〇自治会は、災害から命を守る訓練をします。
地震や台風、洪水が起きたらみんなで
まわりの人を助けます。その練習です。



【命を守る訓練の内容】

あんびかくにん 安否確認	だいじょうぶ 大丈夫か どうか 聞く 調べる 練習
ひなんくんれん 避難訓練	たても 建物から 逃げる 練習
しょうかくんれん 消火訓練	しょうかき 消火器や 水を つかい 火を 消す 練習
たきだし 炊き出し	おくがい 屋外で 食べ物を 作り 配る 練習
きゅうごくんれん 救護訓練	けがを した人の 手当の 練習
つなみひなんくんれん 津波避難訓練	つなみ 津波から 逃げる 練習
ひなんじょうえいくんれん 避難所運営訓練	ひなん 避難して 生活する 場所を みんなで 管理する 練習

外国人との共生④ 地域防災

ポイント03 防災アプリで災害の情報を得る

多言語に対応する防災アプリの存在を伝え、各自で備えてもらうことも有効です。各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、災害時に幅広く役立つ機能を備えたスマートフォン向けアプリです。

【対応言語】

- ・英語
- ・ポルトガル語
- ・中国語
- ・韓国語
- ・スペイン語
- ・タイ語
- ・ベトナム語
- ・フィリピン語
- ・ネパール語
- ・インドネシア語

静岡県総合防災アプリ『静岡県防災』

<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>



静岡県総合防災アプリ
静岡県防災



ポイント04 防災講座を活用・紹介する

①静岡市の「防災出前講座」を活用する

静岡市では、防災について学ぶ「出前講座」を行っています。外国人向けに開催することも可能です。ただし、やさしい日本語などを用いて説明する実施内容のため、ある程度の日本語の理解力が、必要になります。

【申込条件など】

市内在住か、通勤・通学している方で構成され、講座当日に10人以上の参加が見込まれる団体・グループなど。外国人向けの講座は、資料作成に時間を要します。1か月前までに申し込みをお願いします。



【問合せ】

葵区役所地域総務課	地域防災係	電話054-221-1343
駿河区役所地域総務課	地域防災係	電話054-287-8683
清水区役所地域総務課	防災・防犯係	電話054-354-2024

②外国人向け防災セミナーを紹介する

(一財)静岡市国際交流協会では、外国人を対象にした防災セミナーを年に1回開催しています。講義や体験などを通じて、地震のしくみや災害への備えなどを学びます。通訳がつくなど、日本語が苦手な人も安心して参加することができます。日程など詳しくは、お問い合わせください。

【問合せ】 一般財団法人静岡市国際交流協会
電話 054-273-5931



ポイント05 避難所に多言語の案内を用意しておく

いざという時のために困らないように、事前にやさしい日本語や、多言語の看板を用意しておくことも有効です。

一般財団法人 自治体国際化協会(クリア)
『災害時多言語情報作成ツール』
<http://dis.clair.or.jp/>



【QRコード】
インターネットで
ご覧になれます。

やさしい日本語を含む多言語で、災害時に活用できる各種案内表示を作成することができます。

- ・「災害時多言語表示シート」
- ・「災害時用ピクトグラム」
- ・「多言語避難者登録カード・食材の絵文字」



【対応言語】

- ・やさしい日本語
- ・中国語
- ・スペイン語
- ・ネパール語
- ・英語
- ・ポルトガル語
- ・ベトナム語

静岡市は、令和3年に24種類の「わかりやすいサイン等」を各避難所に配備しました。やさしい日本語や、英語、イラストでわかりやすく説明されています。そちらもご活用ください。

静岡市障害福祉企画課作成「わかりやすいサイン等」



外国人との共生 こまったときの相談窓口

外国人向けの相談窓口ですが、日本人からの外国人に関する相談も随時受け付けています。

静岡市が開設する総合相談窓口です。秘密は厳守されます。13の言語とやさしい日本語で相談を受け付けています。窓口やメッセージでも相談ができます。



問合せ

静岡市多文化共生総合相談センター
(平日8:30~17:15 年末年始を除く)
電話 054-354-2009
または 054-273-5931

窓口

【葵区】
静岡市役所静岡庁舎 17階 (一財)静岡市国際交流協会内
【駿河区】
駿河区役所 3階 市民相談室(※月曜日のみ)
【清水区】
静岡市役所 清水庁舎 2階 (一財)静岡市国際交流協会内
※お住まいの区でなくても構いません



【QRコード】
静岡市多文化
共生総合
相談センター
Facebook
インターネット
でもご覧に
なれます。

メッセージ

Helpline Shizuoka (FacebookのHelpline Shizuoka Cityのメッセージです)

外国人と共生する地域の好事例①

静岡市駿河区有東高層団地自治会

地域データ(単位自治会)

人口	149
世帯数	60
班の数	8
外国人居住率	24.16%
高齢化率	28.85%

(有東高層団地自治会調べ・令和元年12月時点)

《取り組んだこと》

1. 防災について全戸アンケートを実施
2. ごみ出しのわかりやすいチラシを作成
3. 組長の仕事を外国人でもわかりやすくした
4. 組長の仕事のファイルを作り引き継いでいる
(現在はコロナ禍により、一部活動を自粛中)



有東高層団地
自治会
山田勝久会長

4人にひとりが外国人の集合住宅

有東高層団地自治会は、8階建て62世帯が入居できる公営団地で、ひとつの自治会です。令和元年時点で、入居者149名のうち36名の、約4人に1人が、8か国から来た外国人でした。育った国の生活環境が異なることも多いため、

ルール違反が生じることもありました。例えば、ごみが指定場所と異なる場所に出されていたり、指定のごみ袋が使われていなかったり、また、防災については、共用スペースにものが置かれ、発災時の避難に困りそうなことなどが、問題になっていました。

気づきから現状把握のためアンケートの実施へ

さまざまな問題と向き合ううちに、山田会長は「外国人ができていない」という先入観が、自分にあるのではないかと気づきます。そしてそれは現状を正しく把握できていないことが原因だと考え、全世帯を対象にしたアンケートを実施することにしました。

あえて「防災」を切り口にしたアンケートを実施

住民の関心が高く、必要性も高い「防災にまつわるアンケート」として実施することで、住民が考え、理解しやすい内容にしました。

《アンケートの項目》

- ・災害時に避難するか否か
- ・外国人が防災活動に参加するには何が必要か
- ・国籍に関係なく助け合う必要がありますが、あなたは何かできますか
- ・不安だと思うことは何ですか

アンケートでは、問題になっていたごみ出しや共用スペースの使い方についても、あえて防災の視点から、一体何が問題なのかをわかりやすく説明すること

で、住民が自分のこととして考え、回答しやすいアンケートを作成しました。

《アンケート設計における防災への置き換え例》

自転車置き場のルール違反→避難の妨げになる可能性
指定場所以外へのごみ出し→避難時や避難生活へ影響
ベランダの物干し→強風時に飛び、電線にからまり停電へ
駐車場のルール違反→避難時に優先車両が駐車できない

アンケートの実施において、住民に外国人や高齢者が多くからと、各戸を回り、回答の聞き取りをしてくれた心強い班長もいました。その結果、回収率は、98.3%という非常に高い割合になりました。アンケート結果から、日本人でも、ごみ出しや共用部分の使い方について守れていない住民がいる、そして、守れていないことを自覚していることもわかりました。このアンケートの結果を全戸に配布すると、その後自主的に改善がされていきました。そして、アンケートから災害時に在宅避難をする人が多いことや、住民のなかに医療・介護従事者、栄養士など有資格者が多くいることもわかりました。これによって、今後の防災活動をより具体的かつ効果的な内容にできるようになりました。

《アンケートでわかったこと》

- ・発災時に避難所へ行かない住民が多い
- ・外国人を巻き込むには、外国人の声を聞く必要がある
- ・通訳や医療、介護従事者や栄養士など、自治会内にさまざまな資格を持っている住民がいる

ごみ出しの問題、まずはチラシの作成から

山田会長は以前から、外国人のなかにはごみの出し方を知らない方がいることを理解し、回覧板や掲示物にふりがなをふったり、英語の翻訳をつけたりしていました。そして、静岡市の「ゴミの出し方ガイドブック(多言語版)」も全戸配布を行い、活用しました。さらには必要であれば、インターネットの翻訳サイトを使って、中国語やスペイン語といった他の言葉にも翻訳し、必要な家庭へのチラシ配布なども行っています。最近では、外国人のお宅へ入居後、数回訪問し、ごみの出し方や、清掃活動への参加方法の説明に訪問させていただき、入居後のケアを手厚くすることで、共同住宅でともに暮らすことについて理解してもらうように工夫をしています。



基本は3つの言葉

1. ひらがな
2. 英語
3. 中国語

わかりやすい写真を大きく掲載

情報は必要最低限にしぼる

何がルール違反なのか「いはんです」とわかるように伝える

どうすればいいのか参考になる具体的な情報もわかりやすく伝える

班長が誰なのか、自分はいつなのかをわかるようにし、共有することで、スムーズな引継ぎをしています。

外国人によっては、役員になったことをきっかけに防災訓練に参加するようになったり、日本人の役員が「今日は会合ですよ」と声をかけることで、ともに生活することの理解が少しずつさまざまなところで進んでいるようです。

外国人と自治会活動、そして情報の共有

有東高層団地自治会では、毎月開催する定期清掃に、住民の約半分が参加をします。そこには外国人も日本人同様に参加をしています。最初は数名だった外国人の参加でしたが、各階の班長さんが声掛けを行ってくれたことで、少しずつ外国人の参加者が増えていったそうです。

自治会活動へのさらなる理解を深めるために、定期清掃や防災訓練、春と秋の植栽作業など、自治会のさまざまな活動の様子を、年に9回ほど「有東高層団地だより」として、回覧・掲示をしています。活動をこまめに報告することで、外国人をはじめとする住民に知ってもらうことも大切にしています。

外国人との共生については、日常的なコミュニケーションが大切だと山田さんは言います。趣味を地域活動へ活かしてもらうようにすすめてみたり、トラブルがあれば話し合っただけでルールを決めていくなど、ていねいに関係の構築を図っています。

ポイントは、外国人が間違っただごみの出し方をしても、叱ったり、大きな声で怒鳴ったりしないことだと、山田会長は言います。彼らは知らないことが多いので、理解すれば、改善することが多いのだそう。教えるときには、頭ごなしにダメだと伝えるのではなく、彼らの先輩になったつもりで、どこが間違っているのかをていねいに伝え、何が正解なのかをわかりやすく教えることが、必要なのだそうです。

自治会の担い手としての外国人

有東高層団地自治会には、班長が各階に1名ずつ、合計8名います。輪番制で全世帯が順番に班長になるので、外国人であっても班長を担当します。しかし、外国人のなかには、自治会や役について、知らない人も多いのが現状です。

そこで山田会長は、自治会が何をしていて、班長になった時には何をすることになるのかを整理し、わかりやすく文字にした仕事のファイルを作りました。1班長につき1冊作り、次の会長へ引き継いでもらえるようにしてあります。



班長のための役員引継ぎファイル。毎月の仕事についてわかりやすく書かれています。毎年交代する輪番制の役員にとって、このような役割の手引書があることで、作業の負担が大きく軽減されます。

「班長のファイルの内容」

- ① 年間行事に何があるのか、自治会が何をやっているのかを一覧にする
- ② 組長の仕事を一覧にする
- ③ ①と②を引継ぎファイルとしてまとめ、各班長に1冊ずつ作り、班長が変わったら引き継いでもらっている
- ④ 輪番制のため、数年先の組長は自然と決まります。2年先まで3年間分の組長の名前を一覧にして、毎年全世帯に配付をしています。これにより、次の



有東高層団地自治会では、外国人も、毎月行われる清掃活動に参加し、自治会役員も務めることで、国籍に関係なく、ともに暮らしやすい地域づくりを目指しています。

外国人と防災、そしてこれから

外国人を意識した防災訓練にも力をいれています。まず、防災訓練当日には、班長に近隣の住民に声をかけてもらうことで、外国人を含む、多くの住民に参加してもらうようにしています。

そして、有事の際、集合住宅では、火災が問題になりやすいです。そこで、バケツリレーや水消火器による消火訓練を積極的に取り入れ、住民による初期消火力をあげることに注力しています。外国人親子も多く参加してくれるので、参加者同士の会話を大切に、外国人の子どもが参加してくれたら、たくさん褒め、仲間意識を高めるようにしています。

山田さんは、ルール違反は外国人だけに限ったことではない、これから多文化共生社会を生きていく次世代の子供たちに、間違っただけを教えないでほしいと、伝えています。

有東高層団地では、今後は子どもから高齢者まで集えるサロンや、住民の仲間意識醸成のために団地まつり、また有事の際に困らないよう、車いす避難訓練などを実施したいと考えているそうです。

外国人と共生する地域の好事例②

磐田市南御厨地域づくり協議会



磐田市南御厨
地域づくり協議会
杉田友司 副会長

地域データ(R4.1)

人口	3,162
世帯数	1,285
単位自治会数	9
外国人居住率	17.8%
高齢化率	35.2%

《取り組んだこと》

1. 地区自治会の取組み確認と自治会サポート委員の設置
2. ごみ出しの説明に半年かけて研修を実施
3. さまざまな行事への参加を促すと共に外国人参加者を住民に紹介
4. 多文化交流センターの設立（2006年4月）など

ブラジル人コミュニティと東新町団地

磐田市の南御厨地区は県営団地と公営団地・大型マンションがあります。9の単位自治会があり、約1300世帯3150人のうちおよそ2割の約250世帯800名が外国人で、その約8割がブラジル人という地域です。



2000年頃は、ごみ出しや騒音の問題、学校のトラブルなど、外国人についてのイメージはよいとは言えず、別のコミュニティという認識や、高齢化による封建的な考え方も影響し、トラブルが頻発するような状況でした。2002年に杉田さんは、自治会地区長に就任。「日本人がブラジルに渡り受け入れてもらった歴史があるのに、日本に働きにきたそのブラジル人の子どもたちを追い出すのはおかしいのではないか、なんとかできないか」と自らが飛び込み、自治会長たちに「ついてきてくれるか」とたずね、承認を得て、多文化共生を南御厨地区の課題として掲げ、翌年から取り組みははじめました。

なにはともあれ「あいさつ」から

「共生していくにはどうしたらいいの？」が杉田さんの多文化共生のスタートでした。外国人が来ると避けていた日本人に、「言葉がわからなくてもいい、あいさつをしよう」、「食いつくわけではない」、「手をあげるだけでいい」とあいさつの大切さを伝え続けました。そして、日本人と外国人の自治会役員を集め、共生の大切さについて説明をはじめました。その後、課題となっていた言葉の壁の解消に、外部ではないブラジル人居住者から通訳者を募集し、3名の協力を得て「自治会サポート委員」を設立。自治会の新しい仕事として文書を翻訳したり、通訳の手伝いをしてもらったりしました。当時の様子を「とびまわっていたら、頼りにしてくれるようになった」、「ひたすら地域で共に仲良く暮らし



ていくにははどうしたらいいのかを考え続ける毎日だった」と話してくれました。

多文化バカになってとびまわった

杉田さんは「多文化共生に教科書なんてないから、自分たちで作るしかなかった」と言います。例えば、問題になっていたごみ出しは「行政は、看板の提供はしてくれても、対応には限界がある」、「何より外国人はごみ出しの決まりがわからない、ならば声を聴いて教えるしかない」と、杉田さんは半年かけてごみ出しについての外国人に研修をしたり、ひたすら説明をしたりして歩きました。さまざまな問題に対処し、「多文化バカになった」というほどとびまわるうちに「周囲が自然と頼ってくれるようになってきた」と振り返ります。

コツは、信頼してもらっても突き放す。一度教えた次は自分でやらせよう。わからなければ聞いてもらおう。そうすることで人が集まり、輪が広がっていくそうです。



行事へ参加してもらおう

多文化共生において、行事への参加は非常に重要だと言います。南御厨地区は、行事が多く、運動会や通学合宿、夕食会や、軽トラ市など、さまざまな行事があったので、外国人の参加を促し、地域の方々と交流を深める努力をしたそうです。

子どもの通学合宿では、外国人の子どもたちも、地域の日本人のお宅へ、内風呂を借りに行きます。すると、顔見知りを増やしなが、日本のマナーを知ることになります。さらに、楽しいだけでなく、体調不良や騒いだ場合には親に連れ帰ってもらうなど、分け隔てない対応を心掛けているそうです。6年生で班長になったブラジル人の子が、自分が班長になったと誇らしげに喜ぶ姿を見ることもできたそうです。



2泊3日の通学合宿のようす。

夏にバーベキューや流しそうめんを楽しむ青年部主催の「ふれあい夕食会」では、ファミリーの参加を促し、親世代の交流促進も行います。南御厨地域づくり協議会東新横丁部が毎月第3日曜日に開催する軽トラ市にも外国人を巻き込み、賑わいを見せています

(現在はコロナ禍により休止中)。外国人が手作りの料理で出店したり、一緒にダンスを踊る様子は、もう理屈や理論ではない当たり前の交流が生まれていると杉田さんは言います。



「東新横丁」のようす。

みんなで一緒に防災活動

大規模災害発生時には、日本人も外国人も同じ責任を負い、助け合う必要が出てきます。これも多文化共生のひとつです。南御厨地区には、さまざまな工夫により、国籍を超えた防災活動が根付いています。過去、大規模な停電により、団地内の水道が停止し、各家庭への給水が止まりました。杉田さんが「多文化交流センター」で仕事をしていた時の出来事です。多くのブラジル人から相談を受けた杉田さんは、磐田市の許可を得て、ペットボトルを持ってきた外国人に、センターにある市水道から水を配布しました。多くの外国人がよろこび、利用をしたその時に「隣に住んでいるお年寄りにも水を届けてあげてくれませんか」と頼みました。すると、笑顔で「OK」と返事が返ってきました。まさに生きた多文化共生の体験です。

さらに、団地居住者対象の防災訓練では、外国人の参加を増やすために当日朝、消防署の協力を得て消防車にブラジル人小学生に乗りしてもらい、ポルトガル語で団地内に訓練のアナウンスをしてもらっています。そうすることで親も喜び、参加の拡大に寄与しているとのことでした。



住民による消火訓練のようす。

子どもたちに日本語を

「日本語がわからない」と泣いていた小学3年生の子どもとの出会いをきっかけに、杉田さんは次なるステージへと進みます。子ども達のために、集まる場が作れても、学びについてはどうすることもできないという壁に気づきます。そこで、南御厨地区自治会は関係するみなさんと共に、磐田市へ働きかけ、外国人のための学びの場を作りました。それが「磐田市多文化交流センター『こんにちは!』」で、磐田市で最初の多文化共生のための拠点です。センターでは、放課後に小中学生の宿題や読書を



磐田市多文化交流センター「こんにちは!」

教えたり、日本語のサポートを行ったりしています。一方、午前中は、小さな子どもを持つ家庭のための、子育て支援の場として、国籍を問わず活用しています。学びをとりかかりに、日本の生活に慣れるための場としてスタートをし、結果、不就学児が登校をはじめたり、様々な外国人の相談の場になったりしています。保護者同士で日本とブラジルのお弁当の情報交換会を行ったり、大学受験をした先輩の話を聞く場を設けたことが、子どもの将来を考え、学資を貯める発端になったり、杉田さんの予想をこえる、多文化共生が広がり浸透するきっかけづくりの拠点として成長しています。



多文化共生センター「こんにちは!」は、子どもたちの学習の場や子育て支援の場など、さまざまな国籍や年代の住民が、広く集う場所として活用されています。

【多文化共生センターこんにちは! スケジュール】

月～金	対象
午前	親子遊び(子育て世代)
放課後	児童の学習と遊び(小学生)
夜	中学生支援(週2回)
その他	対象
日曜午前	ポルトガル語講座(小学生)
月～金・日	相談・情報提供

多文化共生とは

杉田さんにとって、多文化共生で大切なのは、自分の熱意で人を巻き込み、広げていくことであり、他人ごとにしなければ、心持ちですぐできるので、協力者を探して、動き出すことさえできれば、そんなに難しいことではないようです。「そもそも多文化共生には、基本はあっても教科書はないから、やり方に決まりはない」、「結局は人と人のつながりなのだから、『仲良く』を基本として、互いの信用を育み、入り込み、人と人のふれあいを楽しむことができるようになればいい」と言います。これからは「呼び寄せ」によって来日した高齢者や日本語のわからない家族への対応も必要になります。さらには高齢化や人口減少による影響も受けることになると、杉田さんは先を見越しています。「難しいのは外国人の方々は、居住先の移動が多く、せっかく顔見知りになっても、別れてしまうことが多い。そうした状況下において、まだまだやることは沢山あるのだ」と笑顔で次の課題への意気込みを見せてくれました。

易しい表現で 優しい気持ちで すべての人にやさしい

やさしい日本語

をつかいましょう！

Q. 「やさしい日本語」ってなに？

A. 日本語の理解やコミュニケーションに困難を抱えている外国人などのために、配慮したわかりやすい日本語 のことです。

1995年阪神淡路大震災の際、多くの外国人も被害を受けました。外国人への情報伝達の反省をきっかけに、やさしい日本語が考案されました。現在、やさしい日本語は、多文化共生や外国人観光客対応など多様な領域で発展しています。

Q. なぜ「やさしい日本語」がいいの？

A. ★外国人にわかりやすいから

静岡に住む多くの外国人は、英語が公用語でない人です。簡単な日本語なら理解できる人が多いです。

★日本人にもわかりやすいから

子どもや高齢者、障がいのある人、理解に時間がかかる人など、日本人にもわかりやすいです。

「やさしい日本語」に正解はありませんが、**コツ**はあります。

「はさみの法則」を心がけましょう。

は っきり 明瞭な言葉、発音で伝える。

さ いごまで 言う。〔(例)行きたいんですが… → ^い行き方^{かた}を ^{おし}教えて ください。〕

み じかく 必要なことを端的に伝える。



やさしい日本語 8つのポイント

右が「やさしい日本語」の言い換え例

1. 一文を短くする。つながっている文を分けて、単文にする。

例1	ご飯を食べて、お茶を飲みます。	ごはんを 食べます。お茶を 飲みます。
例2	私は医者をしている姉がいます。	わたしは 姉が います。姉は 医者です。

2. 簡単な言葉を使う。和語(日本固有の訓読みする言葉)を使う。

例3	夜道は危険ですよ。	よるの(くら)みちは 危ないですよ。
例4	速やかに高台に避難してください。	すぐに 高いところに 逃げて ください。
例5	早く打ち解けてくださいね。	早く 仲良くなって くださいね。

3. 敬語は使わない。「です」「ます」「ください」を使う。

例6	こちらにご記入いただけますか。	ここに 書いて ください。
例7	身分証明書を拝見いたします。	*身分証明書を 見せて ください。 *パスポート、在留カード、運転免許証 など

4. オノマトペ(擬音語・擬態語)は使わない。

例8	床をピカピカにしてください。	床を きれいに して ください。
例9	みんなでワイワイ楽しみましょう。	みんなで にぎやかに 楽しみましょう。
例10	私は英語がペラペラになりたいです。	私は 英語が 上手に になりたいです。

5. カタカナの言葉や外来語、和製英語に気をつける。

例11	ライフラインが停止しています。	水(道) ガス 電気が 止まって います。
例12	マナーモードにしてください。	音を 消して ください。

6. わかりにくい表現を使わない。(二重否定・あいまいな表現は使わない)

例13	現金しか使えません。	かね つか かーど お金だけ 使えます(カードは だめです)。
例14	バスでも行けなくはないです。	ばす じかん バスでも いけます(でも 時間が かかります)。

7. 情報を整理する。(相手に一番伝えたい情報を選んで、大胆に伝える)

例15	春の訪れを感じさせる今日この頃です。皆様におかれましては、毎年恒例のいちご狩りを楽しみにしていっぱしゃることと思います。今年のいちご狩りは、来たる3月12日(土)に静岡いちごセンターで開催する運びとなりました。皆様お誘い合わせの上奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。	がつ にち ど ようび しずおか せんたー 3月12日(土曜日)に 静岡いちごセンターで いちご狩りを やります。 ぜひ 来て ください。
-----	---	--



8. 工夫する。・ふりがな・ルビをふる。 ・分かち書き(区切りに空白を入れる)をする。 ・具体的に言う。

例16	当日受付で 集金 します。	がつ にち うけつけ かね だ ○月○日に 受付で お金を 出して ください。
-----	----------------------	--

○図やイラスト、写真、ピクトグラムなどを使って 視覚化する。



- 実物を見せる。
- ジェスチャーを使う。
- コミュニケーション支援ボードを使う。
イラストを指でさして使い、コミュニケーションをとります。



公益財団法人
明治安田こころの健康財団
【QRコード】
コミュニケーション
支援ボードをダウン
ロードできます。

【ポイント】
相手に伝わるように、
相手に合わせる
気持ちが大切です！

- 翻訳ツールを使う。

公益財団法人 明治安田こころの健康財団
コミュニケーション支援ボード



「やさしい日本語」を使った、自治会活動にお役立ていただけるさまざまな例文をまとめました。みなさまの自治会・町内会活動に応じて、お役立てください。例文のデータは、静岡市のホームページからダウンロードも可能です。



自治会・町内会活動に使えるやさしい日本語の例文集です。
【QRコード】
静岡市のホームページからデータをダウンロードできます。

＜自治会加入のお知らせ・自治会について＞

例文集です。
活動にあわせて
お使い下さい。

「自治会・町内会」に入りませんか？
必ず読んでください。

「自治会・町内会」とは
近くに 住んでいる 人たちが 作る 会です。
自治会・町内会に入ると、近くに 住む 人たちと 仲良くなれます。
日本の生活に 慣れる ための お手伝いも します。
安全で 住みやすい まちに するために 一緒に 活動しませんか。

「自治会・町内会」の 活動について

安心・安全な 町の ために
○地震・火災のときに 安全に 逃げる 練習を します。火を 消す 練習も します。
○泥棒・痴漢など 犯罪が 起きないように まちを 見回ります。
○子どもたちが 安全に 学校へ 行けるように 見守ります。
○ひとりで 住んでいる お年寄りなども 見守ります。

きれいな まちの ために
○道や 公園を 掃除します。ごみの 置き場を きれいに します。

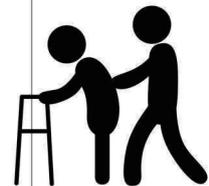
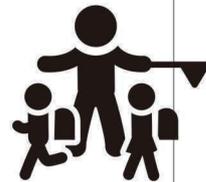
健康で 楽しい 暮らしの ために
○運動会や お祭りなどを します。まちの 人と 一緒に 楽しめます。

暮らしの 情報を 伝える ために
○まちの いろいろな 情報を 届けます。生活の 役に 立ちます。
○回覧板(まちや 役所からの お知らせ)が まわってきます。読んで 次の 家に 渡します。

会費(お金)について
○会員の みなさんからの お金と 市からの お金で 活動しています。
○会費は 〇〇円です。

自治会・町内会に 入る とき
○自治会長・町内会長に 電話をして ください。(☎ 054-000-000)

自治会・町内会について 聞きたいことがあるとき
静岡市自治会連合会 ☎054-221-1568
※日本語が わかる人と 一緒に 電話で 聞いて ください。



《ごみの出し方の説明》

【ごみの出し方】

ごみは わけて 出します。

ごみは 出す日 が 決まっています。

決まっている 場所 に 出します。

静岡市の ごみ袋 に 入れて 出して下さい。

●燃える ごみ

・○曜日と ○曜日です。

・朝8:30 までに 出してください。

・夜に 出したら だめです。

・猫や カラスが 食べ物を 探して 汚します。

・ごみに 網を かけて ください。

●びん・缶・なべ・やかんなど

・月1回 第○ ○曜日です。

・朝8:30 までに 出してください。

●燃えないごみ・家具などの 大きい ごみ

・月1回 第○ ○曜日です。

・ごみは 7つまで 出すことができます。

・ごみに 名前を書いた 紙を 貼ってください。

・電話で 予約を してください。(☎054-000-0000)

・インターネットでも 予約 できます。

例文集です。
活動にあわせて
お使い下さい。

イラストを
添えると
理解しやす
くなります！

【ごみ袋】

●ごみ袋を しばります。

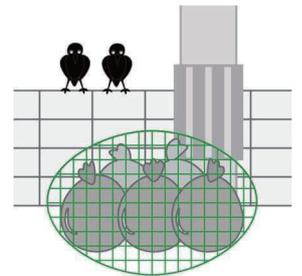
●ごみ袋の 空気を ぬきます。



●生ごみの 水を ぬきます。



●ごみに 網を かけます。



<自治会費徴収のお知らせ>

自治会費(まちのことに 使う お金)を 集めます。

〇〇さんが お金を 集めに いきます。

自治会費(お金):〇〇〇円

いつ:2020年〇月〇日(〇曜日)から〇月〇日(〇曜日)まで

午後〇時から〇時まで

家に いないときは 電話を してください。

☎:054-000-0000

OK



《運動会のお知らせ》

〇〇自治会の運動会をします。

まちの人と運動を楽しみます。

賞品もあります。ぜひ参加してください。

いつ：2022年〇月〇日(日曜日)〇:〇〇から〇:〇〇

どこで：〇〇小学校 運動場

※お金はいりません。

※雨のときは〇日にします。



《防災訓練のお知らせ》

〇〇自治会の防災訓練をします。

地震から体を守る練習です。

いつ：2020年〇月〇日(〇曜日)〇:〇〇から〇:〇〇まで

どこで：〇〇小学校 体育館

〇時にサイレンがなります。

地震の訓練のサイレンです。

家の人が大丈夫なら、黄色い布を外につけてください。

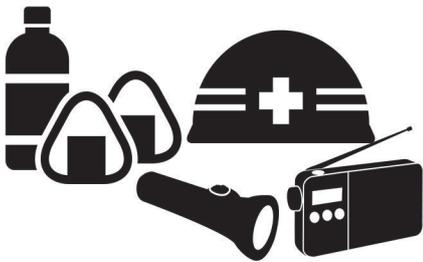
組長は黄色い布が出ているか確認してください。

それから体育館へ集まります。

組長は逃げるところをつくる練習もします。

※お金はいりません。

※雨でもやります。



《総会のお知らせ》

〇〇自治会の総会へ来てください。

今年の予定とお金の使い方を決めます。

いつ：2020年〇月〇日(〇曜日)〇〇:〇〇から

どこで：〇〇集会所

総会に出られないときは委任状に名前を書いてください

委任状は〇月〇日までに〇〇さんに渡してください。

※委任状はほかの人にお願いをする紙です



自治会・町内会のためのやさしい日本語 言い換え集

用語	説明	用語	説明
おおや 大家	いえ か ひと 家を 貸す人。	こうずい 洪水	あめ が たくさん 降ったとき、水が 道や 家の なか 中まで 来る ことが あります。
かいらんばん 回覧板	まちや やくしょ からの お知らせ。読んで 次の いえ わたし 家に 渡します。	じしゅぼうさいかい 自主防災会	まちの ひと たちが まちを 災害から まも 守るための 会。
がっく 学区	す ばしょ しょうがっこう ちゅうがっこう き 住む 場所で 小学校・中学校が 決まって います。その場所が あなたの まちです。	たきだし 炊き出し	さいがい のとき まちの ひと たちが みんなで あたたかい ご飯を 作ります。
ぎょうじ 行事 イベント イベント	まつ うんどうかい ぼうさいくねん など まちの かつどう 祭り・運動会・防災訓練 など まちの 活動。	ひなん 避難	に 逃げる こと。
けいろうかい 敬老会	まちに 住んでいる お年寄りを 祝う 会。 なが い 長く 生きていることを 祝います。	ひなんじょ 避難所	おお さいがい いえ あが 大きい 災害で 家が 危ないとき と 泊まる ことができる 建物(公民館、学校の たいいくかん 体育館 など)。
こども会 かい	まちに 住む こ どものための 遊ぶ 会。 ひとり ひつよう まちの 一人として 必要なことも 学びます。	ひなんばしょ 避難場所	おお さいがい のとき すこ かいだ 大きい 災害の時 少しい間 逃げる ところ (公園、学校の 運動場 など)。
じちかい 自治会 ちょうないかい 町内会	ちか す ひと がつく かい 近くに 住む 人たちが 作る会。 あんぜん す 安全で 住みやすい まちに するために、 いっしょ かつどう 一緒に 活動します。	ぼうさい 防災	じしん たいふう こうずい などの ひがい 地震・台風・洪水 などの 被害を う 受けないように 備える こと。
しゅうかいじょ 集会所 じちかいかん 自治会館	じちかい ちょうないかい も ばしょ 自治会・町内会が 持っている 場所。 はな あ かつどう つか 話し合いや 活動で 使います。	ぼうさいくねん 防災訓練 ひなんくねん 避難訓練	じしん たいふう こうずい などから からだ まも 地震・台風・洪水 などから 体 を 守る れんしゅう 練習。
せたい 世帯	おな いえ いっしょ せいかつ ひと 同じ 家で 一緒に 生活している 人たち。	ぼうはん 防犯	どろぼう ちかん など はんざい お 泥棒・痴漢 など 犯罪が 起きないように きを 付けること。
ちいき 地域・まち	す 住んでいる ところ。	ぼうはんとう 防犯灯	よる ある ひと あんぜん まも 夜 歩いている人の 安全を 守る あかり。
どぶ 掃除 どぶさらい	まちの すいろ げすい ひと まちの 水路・下水を まちの 人たちが 掃除を すること。	かてい 家庭ごみ	いえ から 出る ごみ。
よあ 寄り合い かいごう 会合	まちの ひと あつ まちの 人が 集まって まちについて はな かい 話す 会。	こし 古紙	かみ 紙の ごみ。いらなくなった ほん しんぶん 雑誌 など。
あんびかくにん 安否確認	かぞく ともだち ちか す ひと 家族や 友達、近くに 住んでいる 人が だいじょうぶ しら 大丈夫か、調べる こと。	しげんかいしゅう 資源回収	がっこう や まちが いえ しげん 学校や まちが 家の 資源ごみを 集めて りさいくる します。資源ごみを 売って がっこう や まちの かつどう お金に します。
きょうじょ 共助	さいがい 災害のとき みんなで たす あ 助け合う こと。	しげん 資源ごみ	こし かん びん だんぼー ール など りさいくる できる ごみ。
けいほう 警報	おお さいがい お 大きい 災害が 起きるかもしれない ときの し お知らせ。よく聞いて 命を 守って ください。	そだい 粗大ごみ	おお 大きい ごみ。家具・自転車 など。

『しずおか♡やさになち(やさしい日本語)Net』

易しい表現と、優しい気持ちで、やさしい日本語を使ってみましょう！

☆やさしい日本語について、お手伝いします。
☆やさしい日本語のコツ、お伝えします。
(セミナー・講座・ワークショップをやってみませんか?)

<問い合わせ先>

shizuyasanichi@gmail.com

しずおか♡やさになち(やさしい日本語)Net
いわむら・いわさき

『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』(出入国在留管理庁・文化庁)

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html

外国人を支援するための「やさしい日本語」のガイドラインや、書き換え例「やさしい日本語」のポイントをまとめた動画なども見られます。



『やさになちチェッカー』

<http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi1/nsindan/>

やさしい日本語の自動診断ツールです。入力した文章の難易度を、語彙・文法・漢字・長さ・硬さの5つの項目で自動診断してくれます。

岩田一成、森篤嗣、松下達彦、中島明則 (2015)「やさになちチェッカー」



『コミュニケーション支援ボード』(明治安田こころの健康財団)

<https://www.my-kokoro.jp/communication-board/>

コミュニケーション支援を目的として作成された図版で、指さして用いることが想定されています。絵と、簡単な日本語、英語、韓国語、中国語が記載されています。



『静岡県(しずおかけん)からのお知らせ』(Facebook)

<https://www.facebook.com/infoshizuoka.ejp>

静岡県からのお知らせを「やさしい日本語」でも伝えます。



明るい
暮らし
ふれあいの
まちづくり

～令和3年度 静岡市 協働パイロット事業～
しずおか 自治会・町内会多文化共生ガイドブック

令和4年3月発行

【企画・編集・デザイン】

里山暮らしLABO

【協力】

静岡市 市民局 市民自治推進課

静岡市 観光交流文化局 国際交流課

静岡市葵区追手町5番1号

054-221-1265（市民自治推進課）

054-221-1303（国際交流課）